

アトモス

原民喜

青空文庫

穏かな海に突き出してゐる丘の一角で、一人の人間が勝手な瞑想をしてゐた。恰度彼が視てゐる海の色は秋晴れの空と和して散漫な眺めではあつたが、それは肩に暖かい日光が降り注ぐためでもあつた。彼は芝生の上に落ちてゐる自分の影法師を眺めて、何か微妙な苦惱を貪つてゐた。そこには何か解きあかしたい一つの感覚があつた。塩分を含んだあたるの空気を彼は吸つては吐き、吐いては吸つた。そのうちに彼は不図無意味に近くかう口ちずき遊んだ。

——時間とは温度のことか。

それから大分後のことではあるが、彼は温度の相違に依つて動く永久に停まらない時計が既に発明されてゐるのを識つて急に変な氣持がした。そしてその機械が自分より偉大な感覺を持たされてゐるのを意ふと、一そう変な氣がした。

青空文庫情報

底本：「普及版 原民喜全集第一巻」芳賀書店

1966（昭和41）年2月15日初版発行

入力：蔣龍

校正：伊藤時也

2013年1月24日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

アトモス

原民喜

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>